

議会運営委員会行政視察 所見

小出嶋 文雄

2019.11.11

1 松本市議会

・議会基本条例に基づいて議会改革を進める推進組織を設置して、議員全員が政策部会、広報部会、交流部会の三つの部会に属して、議員一人一人が責任と自覚を持って、各部会ごとの所管事項を自らが企画、立案、運営をして政策を検討して実行している。

・各常任委員会後と二年度初めにテーマを決め、それに基づいて、先進地視察、関係団体との意見交換、等を行い委員会の中で研究討議し、その結果をまとめて議員全員協議会で発表し議員間で課題の共有を行い、提言等の素案をつくり、全議員での「議会政策討議会」を行い、議員間の合意形成を図り政策提言を作り上げていく。全議員の合意形成に至らないときは議長への報告とする。このシステムを確立し政策提言等につなげている。

この視察で、委員会のテーマを取り上げ 1 年間活動するこのあり方と政策提言につなげるプロセスの確立に向けて取り組む必要があると感じました。

2019.11.12

2 会津若松市議会

・政策サイクルによる市民要望、意見に応えるモデルを設定。

- ①意見交換会による問題発見
- ②意見交換会などによる問題を受け課題の設定を行う
- ③問題分析を行う
- ④政策討論会・常任委員会などを通じ調査・検討、討論、等行って政策立案
- ⑤議会として政策を決定
- ⑥執行機関に提言など行い政策執行につなげる

・箕輪町で取り組むには段階を踏んで政策サイクルの設定に取り組んでいきたいと思いません。

・予算決算特別委員会の設置を検討し、評価、審査を充実させ政策サイクルに取り入れることも検討するのが良いと思います。

松本市も会津若松市も議会全体で討論することを通じて政策立案につなげるシステムの活用は取り入れるよう検討すべきであると感じました。